

ゴ ク ロー サン  
5 9 6 3

# ハート通信

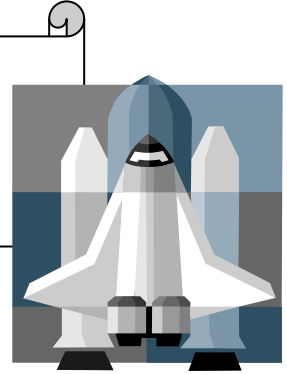
VOL. 17

竹原運輸株式会社

本号の主なトピック

★今後のテーマ

★事務所スタッフからのハートの一言



## ◆今後のテーマ◆

皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。

さて、今回は親のことを少し考えてみたいと思います。

親と自分とは、何か違う存在のように感じてしまうことがあります。その溝を埋めることを、先日の心理学のセミナーで学びました。

それは、親も子供の時代があった、ということです。親が子供の時のことを想像してみる。

すると自分と同じような時があったのだと。私は親父（先代の社長）の子供の頃を想像してみました。その時感じたことがあります。それは、

**親父もおふくろも人間だったのだ。（あたりまえや〜）**

でも、この思いは意外と新鮮な概念でした。自分の親は、父と母というカテゴリであって、人間ではないような気がしてました。でも親も子供のときがあって、ワクワクして将来を期待したり、いろんな悩みや不安を抱えながら、懸命に生きてきたんじゃないか？

そんな思いがよぎり、親に対してとても親近感が湧いてきました。

そしてこの感覚は、社員もそうであり、お客様もそうなんだ、と広がっていきました。

つまり、私は父と母の関係性の中で生まれた。この関係性こそが大事であって、社員もお客様も、**取引思考ではなく、関係性思考が大事なのだ**、と感じました。

この人間であったという感覚。社会も経済もすべて人間が行う行為であって、何か違う別のものではない。その人間として生まれた根源は親であった、と。そこから学んだことは、私も含めて社員もお客様も、取引思考でこの世に生まれたのではなく、関係性から生まれたのだ。だから関係性こそが大事なのではないか？そんな感想のセミナーでした。

つまり、取引からは損得以外何も生まれません。私は関係性の中から信頼の絆を創りたいと思います。

専務 竹原和行

## ◆事務所スタッフからのハートの一言◆

安全はじっと待っていても実現しません。積極的に勝ち取っていくものであり、深い思考の上に成り立つものです。100%完璧に安全な状態など絶対にあり得ません。我々にできることは『いかにして不安全な要素、状態を一つでもなくしていくか、取り除いていくか』ということです。その為に運行前点検や体調管理、車両管理、運行管理等があります。

ところで事故を起こさない優良運転者の特徴が米国安全協会から次の通り報告されています。

「忠実で信頼でき、まじめで、つつましく、用心深い夫であり父である」彼らは運転中も、そうでない時も同じように、攻撃的でなく、人々を思いやる人達である。たとえば彼らがエレベーターに乗る時はまず他の人を中に入れ、自分の後ろから入ってくる人がいないかを確かめて乗るであろう。「人は生活するように運転する」(ティルマン)のものであり、運転はその人の生活スタイルそのものが表れたものである。

大変考えさせられる内容です。生活態度を良い方向に改善できればそのまま、今以上の安全運転につながっていくと思います。

社長 竹原正和



### 地球温暖化防止について！！

日本一の安全な物流会社を目指すために、エコ省エネ運転の励行を実行してグリーン経営の認証を交通エコモ財団よりいただき、早や約3ヶ月が経過いたしました。

さらに4月と5月に3班に分かれて「省エネ燃費講習会」に乗務員全員82名で参加し、省エネ運転の講習を受け、勉強してまいりました。

燃費の向上と事故の軽減へとつながるエコドライブで当社の乗務員にどのようにな意識の変化が見られるか。私にとって非常に心配でもあり、楽しみでもありました。

その結果は、まさに私の取り越し苦労でありました。乗務員からの意見はこのようでした。

従来は月末で燃費の集計をしていたものが、毎日把握するようにもなった。走行の仕方、道路状況、荷重でこんなに燃費が変わるものとは思わなかった。

以前より燃費を気にして走行し、走り方も変わってきて、自分の運転の仕方を振り返ることが出来てきた。

しかし、一方では前からエコ運転をしていたからあまり変化もないし、意識も変わらない。との意見も一部であったが、出てきていた。

私はおおむね短期間であったとは言え、乗務員の新たな意識の変化が生まれてきたのは間違いなく感じています。エコ活動はまだ始まったばかりです。

これからは乗務員だけでなく全社的に省エネ活動を実施していきたいと思っており、「LOVE アースふくい」に登録し、社内でも宣言いたしました。地球温暖化防止に当社も一翼を担って協力して行きたいと思っております。

橋本 勝

## 健康管理とは！！

先日、免許の更新のため運転教育センターへ行く機会を得、ビデオを見せてもらった。その内容は、各種交通事故の事例であった。

交通事故は道路や車輛にも起因するものがあるが、ほとんどは運転手、歩行者といった人間の不注意で起こっていると考えても良いと思う。

交通事故を減少させるには「人的要因」による危険性をいかに減少させていくかが我々運送事業に携わる人間の課題だと思う。

まず、人的要因の一つが人間の健康管理だという。健康管理を怠れば病床に伏す事は間違いない。以前、パイロットの健康管理について記載してある雑誌を見たことがある。

健康管理が出来ない人は機長にはまずなれない。何故か。人命を預かる仕事についている以上、絶対条件は睡眠と食事であるという。それがまず出来ないと失格だそうだ。

人間として当たり前のことが何故。。。

睡眠不足で着陸すると自分では完璧な着陸をしたつもりでも、乗客から見ると何と荒い着陸をするパイロットだと非難をあびる。人間の脳は如何に頼りなくなっているかである。

そういう意味でも睡眠不足や過労、過食、肉類のとりすぎ、適度な運動に留意することだという。我々の仕事もよく睡眠不足、過労に陥る。8時間の睡眠、過食には普段から留意して、病気の発症を抑えていかねばならないと痛感した。

斉藤 洋一

事務所の窓から見える山々が徐々に新緑を増し、遠くのものだけははっきり見える私にとって視力の回復には最適な時期になりましたが、皆様、お元気でお過ごしでしょうか？

私は会社に来るときにいつも同じ道を通ってきますが、何故かその日の朝は違う道を通ろうと思い、幹線道路ではなく市道を走りました。その道には押しボタン信号があり、たまたまその手前で黄色の点滅から赤に変わり『ついてないなあ』と思いながら止まりました。渡るのは小学生の集団登校の列でした。その渡る様子を見てみると、班長さんが一番前で途中まで渡り、そこで止まってみんなを渡らせ最後に自分が渡り、渡りきったところで止まっていた私に向かい深々とお礼をしました。私はその一礼で凄く暖かい気持ちになり『ついてないなあ』と思っていた気持ちが『気をつけて行きねや』に変わりました。

何でもないことかもしれませんが感謝する気持ちとはこういうことではないのかなって思いました。普段、生活していると当たり前になってしまうことが多い中、こういう気持ちいつまでも忘れないでほしいですね！



大橋哲夫

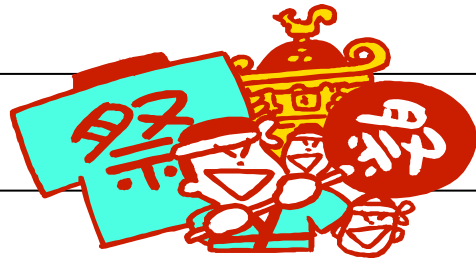
春がすぎ、夏が目の前までやってきました。皆様いかがお過ごしですか？先日まで寒い寒いと思っていたら、気がつけば暑い暑いと感じてる。季節の移り変わりにはいつもの事ながら驚かされるばかりです。当たり前のことですが、四季のあることに感謝です。

さて、過日のことですが、私の地元で毎年恒例の祭りがありました。この祭りは北陸三大祭りのうちのひとつといわれ、県内外から大勢の観客が祭り見物に三国町を訪れてくださいます。「三国まつり」は私が幼少の頃から慣れ親しんだイベントで、藤の花が咲く頃になると「今年もまたまつりがやってくる」と胸躍らせていました。今でも、そんな思いは幼少、少年期となんら変わることなく私の胸を躍らせてくれます。「三国まつり」で季節を感じ、心意気を感じ、自分の体力低下をも感じ（笑）ます。

御神輿に参加して感動も感じています。毎年のことながら御神輿には科学的には多分、証明できない神事がたくさんあります。担ぎ手の力だけではなく心を感じるんです。その担ぎ手全員の気持ちがあつになった時、御神輿はクライマックスを迎えます。最高の気分になれる瞬間です。

竹原運輸は今、全員でエコ活動に取り組んでいます。小さなことでも出来ることから改善し、日本から、世界から交通事故をなくすことを目標にがんばります。

池上 則和



いつもお世話になりありがとうございます。

昨年度の私のテーマは、体重と健康維持の話が多かったのですが、約一年にわたる観察の結果±0 kg・風邪引き一回でした。すみません。。。。。

何度も運動する事を決心しました。自分に合う運動のレベルを下げもしましたが、良くて三日坊主、最悪の場合は決心のみ。すみません

6月は、近所で運動会があります。その後懲りずに運動不足を解消したいと思う事必至です。

今年は月に一回ペースで名古屋に行き、物流技能講習を受講する機会を会社から頂き、数年ぶりに授業に参加します。自分改造計画を強化する決心をしております。それでは又の機会に。

追伸 麻疹が流行っております。皆様お体を大切にご自愛くださいませ。

辻川 伸吾

初めまして、4月より経理担当の仕事をしています吉川と申します。何分新人（歳は若くありません??）でご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

吉川 佳代

また、次回号もお楽しみに・・・